

1 開会

事務局司会により開会

2 あいさつ

高齢者福祉課長あいさつ

3 委員紹介

(1) 委員自己紹介

(2) 事務局幹部職員自己紹介

4 議事等

(1) 次期「千葉県高齢者保健福祉計画」素案について

事務局から説明後、意見交換

(会長)

意見の出し方として項目別に行う方法もあるが、素案の全体を対象として意見を出してもらいたい。

(委員)

先ほどの課長のあいさつにもあったが、千葉県の高齢化率は今のところは低いものの、これから高齢化が進んでいく。特に首都圏は人口が多く、進み方が激しくなると予想される。一方、特養の入所待機者が多く存在するという現状がある。素案の34ページ、37ページに、施設サービス基盤の整備について載っているが、千葉県内にも地域差がある。首都圏、県内では東葛地域において、特に施設が不足するのではないかと。首都圏は土地代も高いというようなこともある。県で施設整備に対する推進策があれば伺いたい。

(事務局)

平成23年7月1日現在、県内に居住する入所希望者数は18,737名。これだけの人数が待機中であると把握している。これまで、県では、国の緊急経済対策による基金事業を活用しながら、施設の整備等を進めてきたが、入所希望者数も増えているため、なかなか待機者数が減らない状況にある。県としては、今後、廃校となった小学校跡地の無償貸与等、人口の多い県北西部への対応を含め、必要な対応について検討していく。

(会長)

事務局から説明してもらったが、これでよいか。更に何かあるか。

(委員)

よい。なお、対応の検討に当たっては、地元市町村の意見を聴きながら進めてほしい。

(委員)

高齢者福祉施策全体で、千葉県は全国平均でどれぐらいの位置か。全国平均より上

か下か。

(事務局)

何をもって評価するのかということがあり、施策全体でと言われても回答困難。

(委員)

では、素案で重視されている「地域包括ケアシステム」(以下「包括ケア」という)については何位か。

(事務局)

御承知のとおり、包括ケアは平成18年度から始まった制度で、現在、国から示された段階である。地域性に応じた多様な包括ケアのあり方、都市部と郡部ではそれぞれどのような包括ケアがいいのかということから検討していく必要がある。

(委員)

包括ケアは平成18年度から始まったという話だったが、古いところはまだ20年ぐらいやっている。町独自に大がかりに取り組み、それを国が後で認めた形。現在の広島県尾道市の取組である。各地で取組もうとして、なかなかできないのが現状。

包括ケアには、病院との連携が必要であり、既存の行政システムを一旦、破壊しないとできない。各分野の責任者がそれぞれ違い、それをまとめるセンター長を誰がやるのかが大きな問題である。県が包括ケア構築を本気でやるなら、相当な労力が必要なので、心配である。

見守りネットワークの取組については、これが包括ケアの基になると考えられ、評価できる。

年をとっても元気で、病気にならないことが大事であり、住民の健康を行政が見守る体制が必要である。その際、地域に誰を配置するのが難しい。

(事務局)

包括ケアは市町村が主体となって取り組むべきもの。県では、単独の課で取り組むものではなく、先ず、担当課の整理から始める必要があると認識している。市町村が主体となっていく取組を支援して、促進を図りたい。

千葉県は元気な高齢者が多い。健康余命は非常に大事である。

(委員)

医科・歯科の連携パスは、今のところ実行性がない。保険の壁もあり、行政主導でやらないと進まない。歯科においてもかかりつけ医が重要であり、連携パスの普及が課題である。現在、病院を持たない介護システムで問題が生じていると思う。一般のパスができなければ、老人のパスも進まない。

(委員)

自分は現在95歳。69歳まで会社におり、70歳から老人会に入った。既に妻は他界し、一人暮らしをしているが、老人クラブの会長をやっていると、そのために早起きもするし、色々やることもある。やはり、趣味でも何でも、何かやっている人は元気だと思う。

船橋市には、数か所の支援センターがあり、自分も一人暮らしなので、訪問してもらっている。

老人クラブの加入者は病気が少ないと感じる。250人の会員のうち、がんなどの

どうしようもない病気で亡くなるのは年に数人。ゲートボールやカラオケなどをやりながら、風邪をひかない、転ばないということ呼びかけている。転ぶのが一番の問題と思う。入院はボケの元である。最後はみんな認知症になるのは仕方ないが、家でTVばかり見ていたのでは、自然に病を得ることになるのではないか。新規に加入する者が少ないのが悩み。

(会長)

予防や見守り、複合的に進めていくことが大事ということだと思う。

(2) 生涯大学校に係る検討について(報告)

事務局から報告

(3) その他

事務局から、次回開催日程等について伝達

5 閉会

事務局司会により閉会